



GOLD PARTNER

©Expo 2025

第27期 株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日

 ジャパンマテリアル株式会社

証券コード：6055



代表取締役社長 田中久男

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループ第27期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

第27期の連結売上高は485億92百万円、営業利益は77億59百万円となりました。これもひとえに株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

最先端技術を有する半導体・液晶工場を支える技術者集団として、世界に誇る半導体・液晶の国際競争力向上に向けてこれまで以上にお役に立てる存在になりたいと思っております。

皆様のご期待に沿えるよう、これからも邁進してまいります。

企業理念

技術を磨き 産業を支え 未来を拓く

経営理念

・安全最優先

いつ、いかなるときも安全第一。
高いプロ意識で産業を支えます。

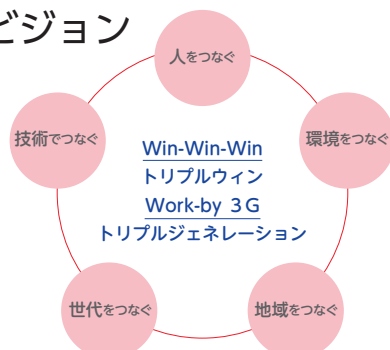
・Win-Win-Win
(トリプルウィン)

先進技術と誠実な仕事で、顧客の事業に貢献します。
取引先や地域と共生し、共に繁栄する関係を築きます。
学びと成長を支援し、社員一人ひとりの強みを伸ばします。

・未来を拓く

事業を通じ、人を育て、環境を守り、豊かで公正な社会を目指します。

経営ビジョン



ジャパンマテリアルは、お客様・お取引先と地域の皆様・社員の3者に利益をもたらす「Win-Win-Win」、18歳~70歳代の3世代が働ける「Work-by 3G」を掲げ、更なる成長を追求していきます。

売上高

485億92百万円

前年同期比4.4%増



営業利益

77億59百万円

前年同期比30.1%減



経常利益

82億30百万円

前年同期比27.2%減



親会社株主に帰属する当期純利益

56億81百万円

前年同期比28.1%減



- イニシャル部門は、主要顧客である半導体工場において設備投資が継続され売上高は増加したものの、材料価格の高騰による原価率の悪化等により利益は減少
- オペレーション部門は、GBS (SINGAPORE) PTE.LTD.の株式を取得、連結子会社化により、売上高は増加したものの、主要顧客である半導体工場における減産の影響を受け、利益は減少

名古屋証券取引所主催 「株式投資ウィンターセミナー2023」に出展

2023年12月11日(月)、愛知県名古屋市のナディアパークにて開催された名古屋証券取引所主催の「株式投資ウィンターセミナー2023」に出展いたしました。本セミナーは東海地区在住の個人投資家を対象に、上場企業による企業説明会と講師による株式講演会の二部構成にて開催されています。

当日は300名以上の個人投資家にご来場され、当社も社長田中より事業内容や直近の業績などをお伝えし、個人投資家の皆様からはたくさんのご質問をいただきました。

今後も投資家の皆様のご期待に沿えるよう、更なる企業価値の向上を目指した事業運営に尽力してまいります。





当期の業績についてお聞かせください。

当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門では、NAND型フラッシュメモリ工場における設備投資減速の影響を受けたものの、ロジック半導体工場での設備投資が継続されたことから前連結会計年度に比べ売上高は堅調に推移しましたが、材料価格の高騰による原価率の悪化等により、セグメント利益は減少しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門では、「トータルファシリティマネジメント（TFM）」の拡大及びGBS（SINGAPORE）PTE. LTD.の株式を取得し、連結子会社化したことにより前連結会計年度に比べ売上は増加したものの、NAND型フラッシュメモリ工場における減産の影響を受け、セグメント利益は減少しました。

グラフィックスソリューション事業においては、デジタルサイン向け製品を中心に堅調に推移しました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働しております。

業績ハイライト

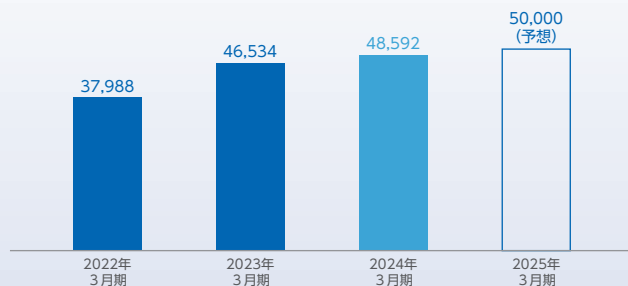
売上高

485億92百万円

前年同期比
4.4%増



(単位：百万円)



※2025年3月期の予想は2024年5月13日現在のものです。

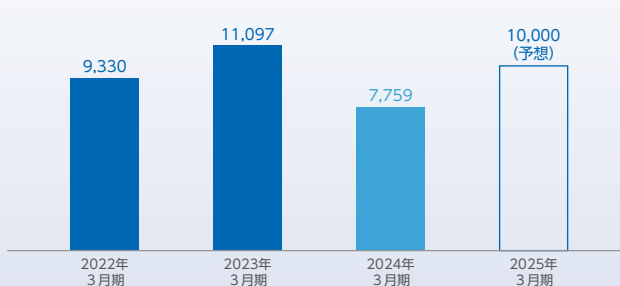
営業利益

77億59百万円

前年同期比
30.1%減



(単位：百万円)



次期の見通しについてお聞かせください。

今後におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善など景気回復が期待される一方、世界経済においては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や資源・原材料価格の高止まり、円安の継続など、引き続き不透明な状況で推移すると予測されます。

このような状況の中、パワー半導体や生成AI関連を中心とした需要が堅調に推移するとともに、半導体の在庫調整も進むことが見込まれることから、半導体需給の緩みは徐々に改善していくことが想定されます。

エレクトロニクス関連事業におきましては、オペレーション部門では、当社グループ内において技術者を育成し人材を確保することで事業領域を拡大し、当社グループの強みであります「トータルファシリティマネジメント（TFM）」を活かして他社との差別化を図り、お客様の期待以上の価値を提供することで安定収益基盤の拡大を図ってまいります。また、イニシャル部門では、主要顧客における設備投資が実施されることが見込まれるため、積極的な営業活動を展開することで確実に受注に繋

げてまいります。

一方、グラフィックスソリューション事業におきましては、デジタルサイネージ分野では商品のコンテンツ制作からシステム構築のトータルソリューションの提供を拡大してまいります。さらに非接触インタラクティブサイネージなどのデジタルサイネージ向け製品や、ビデオプロセッサなどのグラフィックス製品を中心に積極的な営業活動を展開することで販売拡大を図ってまいります。

今後も安全最優先の経営理念の下、持続可能な社会発展に貢献し、一層成長できるようステークホルダーの皆様との連携を深め、SDGsの視点に立った環境、社会、ガバナンスへの取り組みを強化してまいります。

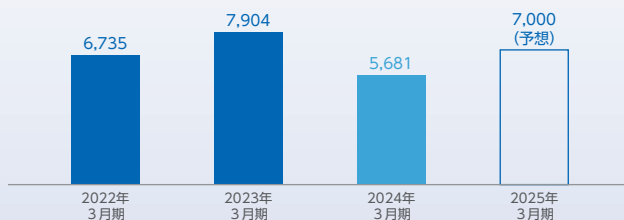
親会社株主に帰属する当期純利益

56億81百万円

前年同期比
28.1%減



(単位：百万円)



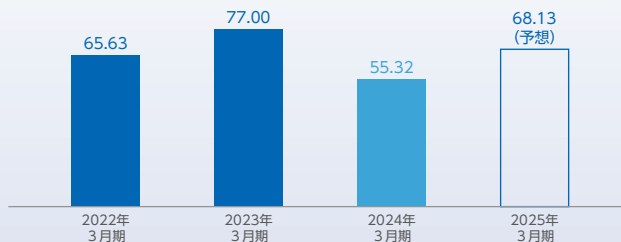
1株当たり当期純利益

55円32銭

前年同期比
28.1%減



(単位：円)



エレクトロニクス関連事業

事業内容

半導体・液晶等の製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液等に関連するインフラ事業、動力・空調等を含めたライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心に事業展開しております。さらに顧客工場の中心部に関わる半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売等の技術サービスを提供しております。



エレクトロニクス関連事業 内訳



半導体材料の長距離輸送におけるモーダルコンビネーションの本格運行を開始

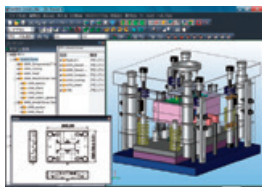
2024年3月、当社は日本トランスシティ株式会社様、日本貨物鉄道株式会社様と共に半導体の製造過程で使用される「半導体材料ガス」の輸送について、貨物鉄道を用いたモーダルコンビネーションの本格運行を開始しました。

これまでは三重県から岩手県までの輸送距離約970kmをトラックのみで運んできましたが、「物流の2024年問題」への対応やグリーン調達活動を推進し、持続可能で安定した輸送体制を構築するため、トラック輸送の一部を鉄道輸送に置換えます。2023年6月よりトリアル輸送を実施し、貨物に対する振動や温度保持などの検証を重ね、輸送品質に遜色がないことが確認できたため、この度本格運行を開始しました。

当社では、半導体の国内生産が進む中、製造で使用する半導体材料ガスや危険品を含む薬品類などのサプライチェーンの強靱化も国産の半導体製造には重要な課題ととらえております。顧客及び関連企業等と連携し、環境に配慮した持続可能な物流体制の構築を図り、サプライチェーンを強化することで、顧客の安定操業と半導体業界におけるグリーン調達活動を推進していきます。



グラフィックスソリューション事業



デジタルサイネージソリューション

サイネージプレーヤーやクラウド型ネットワークソリューション、マルチディスプレイ、マルチプロジェクションシステム等、幅広い製品・サービスをご提供しています。豊富な導入実績とノウハウにより機器選定からシステム構築・コンテンツ制作、ご導入後のサポートまで行っています。

店舗や美術館・博物館、交通機関、ライブイベント、金融機関、教育機関、医療機関等、幅広い分野でご活用いただいています。

映像配信・ブロードキャストソリューション

放送用3Dキャラクタージェネレーターのご提供のほか、ストリーミング配信技術をはじめとするIPネットワークを活用した製品群により、遠隔地への映像配信や伝送のご要望にお応えしています。テレビ局・オフィス・病院・学校等、幅広い機関で多数ご採用いただいています。

3Dビューアの開発・販売

製造業向けに3Dデータの有効活用を促進するソフトウェアの開発・販売を行っています。安価で使い易さにこだわっています。

世界トップシェアのデジタルサイネージプレーヤー 新シリーズ「BrightSign シリーズ5」登場

当社が日本正規代理店である米国 BrightSign社は、世界のデジタルサイネージのマーケットリーダーです。同社が開発するサイネージプレーヤー「BrightSign」に待望の新シリーズ「BrightSign シリーズ5」が登場しました。4Kマルチ出力や8K解像度をサポートするほか、最強の4K HTMLエンジンを搭載し、映像によるさらにイマーシブな演出が可能です。「BrightSign」は日本国内においても商業施設、美術館・博物館、交通機関、各種イベントなど様々なシーンでご採用いただいております、当社はオプション製品やネットワークサービスを含めたトータルデジタルサイネージソリューションをご提供しています。

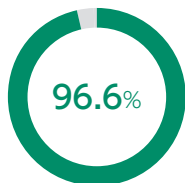


事業概況

Segment Overview

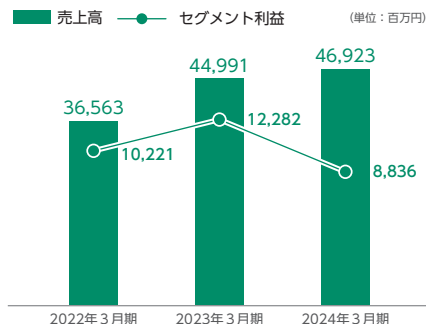
エレクトロニクス関連事業

事業別売上高比率



売上高	469億23百万円 (前年同期比 4.3% 増)
セグメント利益	88億36百万円 (前年同期比 28.1% 減)

ロジック半導体工場での設備投資は継続されたものの、材料価格の高騰等により原価率が悪化



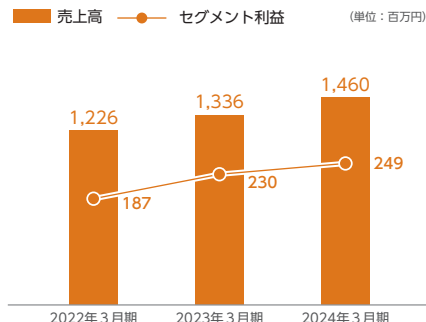
グラフィックスソリューション事業

事業別売上高比率



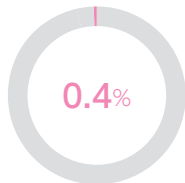
売上高	14億60百万円 (前年同期比 9.3% 増)
セグメント利益	2億49百万円 (前年同期比 8.0% 増)

デジタルサイネージ向け製品を中心に堅調に推移



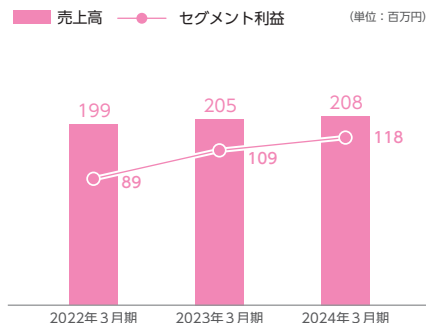
太陽光発電事業

事業別売上高比率



売上高	2億08百万円 (前年同期比 1.3% 増)
セグメント利益	1億18百万円 (前年同期比 9.0% 増)

三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働



連結財務データ

Consolidated Financial Statements

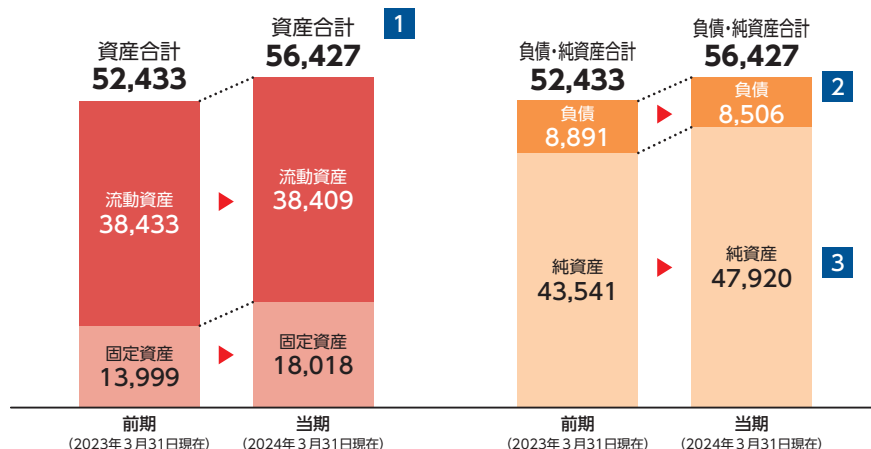
詳細情報は

ジャパンマテリアル IR

検索

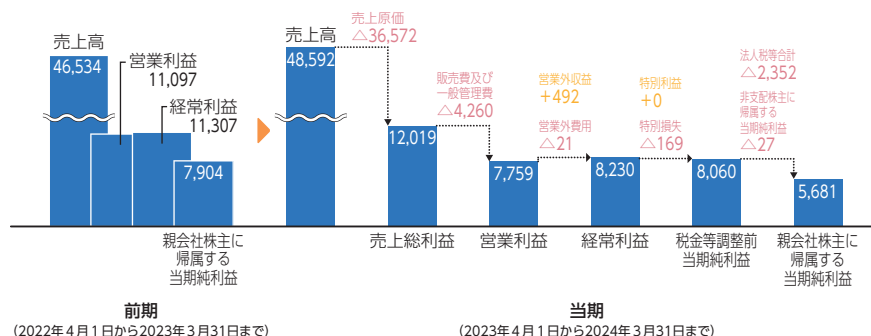
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



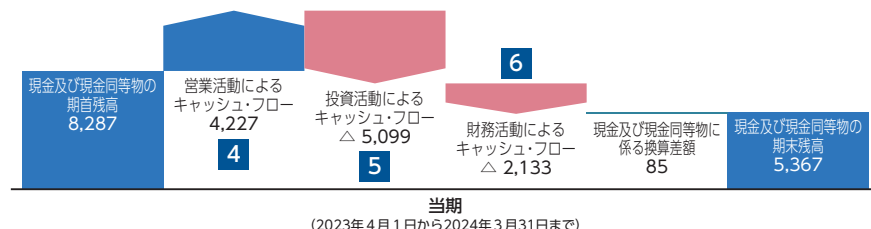
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



ポイント

1 資産合計

資産合計は、39億93百万円増加し、564億27百万円となりました。主に受取手形、売掛金及び契約資産、建物及び構築物、顧客関連資産等の無形資産、のれんが増加しました。

2 負債合計

負債合計は、3億85百万円減少し、85億06百万円となりました。主に未払法人税等、未払金が減少しました。

3 純資産合計

純資産合計は、43億78百万円増加し、479億20百万円となりました。利益剰余金が増加しました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益80億60百万円、前渡金の減少12億42百万円、減価償却費8億98百万円、リース債権及びリース投資資産の減少8億55百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加48億24百万円、法人税等の支払額30億49百万円であります。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入33億14百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出38億55百万円、定期預金の預入による支出24億27百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出19億02百万円であります。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

支出の主な内訳は、配当金の支払額20億53百万円であります。

会社情報

Corporate Data

会社概要(2024年3月31日現在)

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
(英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
設立年月日：1997年4月28日
資本金：13億1,781万5,250円
上場市場：東証プライム市場、名証プレミアム市場
代表者：代表取締役社長 田中久男
従業員数：(連結)1,657名、(単体)464名 ※契約社員及びパートタイマー社員含む
本店所在地：三重県三重郡菰野町永井3098番22

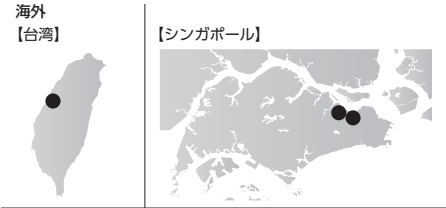
関係会社(連結・2024年3月31日現在)

名称	住所	資本金 (単位:百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菰野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社クスノケミコ	三重県四日市市	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菰野町	310	エレクトロニクス関連事業
株式会社PEK	大阪府堺市	20	エレクトロニクス関連事業
株式会社シーセット	東京都千代田区	19	グラフィックスソリューション事業
茂泰利科技股份有限公司	台湾	NTD 110,000千	エレクトロニクス関連事業
ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD	シンガポール	SGD 340千	エレクトロニクス関連事業
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD	シンガポール	SGD 200千	エレクトロニクス関連事業
GBS (SINGAPORE) PTE. LTD.	シンガポール	SGD 380千	エレクトロニクス関連事業

関係会社(非連結・2024年3月31日現在)

名称	住所	資本金 (単位:百万円)	主要な事業の内容
株式会社WiL	三重県三重郡菰野町	40	エレクトロニクス関連事業
株式会社バック・ステージ	東京都中央区	5	グラフィックスソリューション事業

グループネットワーク



役員(2024年6月26日現在)

代表取締役社長 田中 久男
常務取締役上席常務執行役員 田中 宏典
常務取締役上席常務執行役員 甲斐 哲郎
取締役常務執行役員 長谷 圭祐
取締役常務執行役員 田中 智和
取締役執行役員 坂口 好則
取締役執行役員 矢内 信晴
取締役執行役員 田村 安
社外取締役 大島 次郎
社外取締役 杉山 賢一
社外取締役 沼沢 禎寛

取締役(常勤監査等委員) 喜多 照幸
社外取締役(監査等委員) 今枝 剛
社外取締役(監査等委員) 高橋 裕子

執行役員 北川 浩二
執行役員 城戸 勝喜

株式情報

Stock Information

株式の状況(2024年3月31日現在)

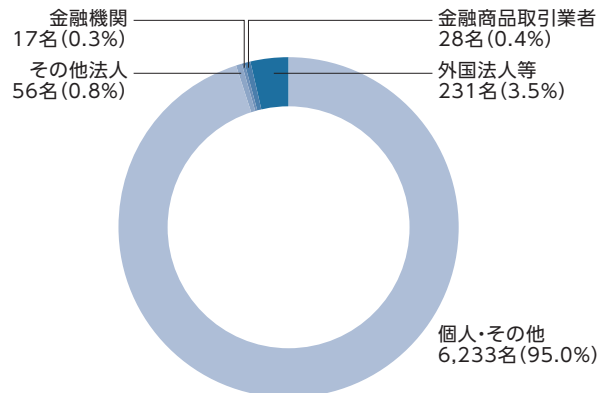
発行可能株式総数 324,000,000株
発行済株式の総数 102,738,180株(自己株式2,411,340株を除く)
単元株式数 100株
株主数 6,566名

大株主の状況(2024年3月31日現在)

株主名	持株数 株	持株比率 %
田中 久男	12,522,500	12.1
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10,446,000	10.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,224,300	9.9
田中 智和	8,804,300	8.5
株式会社HT	5,300,000	5.1
T&T株式会社	5,300,000	5.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	2,580,400	2.5
喜多 照幸	2,525,160	2.4
公益財団法人ジャパンマテリアル国際奨学財団	2,200,000	2.1
株式会社百五銀行	2,160,000	2.1

(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数(2,411,340株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



IRサイトのご案内

IR情報の詳細につきましては、当社IRサイトをご覧ください。

<https://www.j-materials.jp/ir/>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領
株主確定日 3月31日(期末配当)

定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3か月以内

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711(通話料無料)

公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.j-materials.jp/>

証券コード 6055

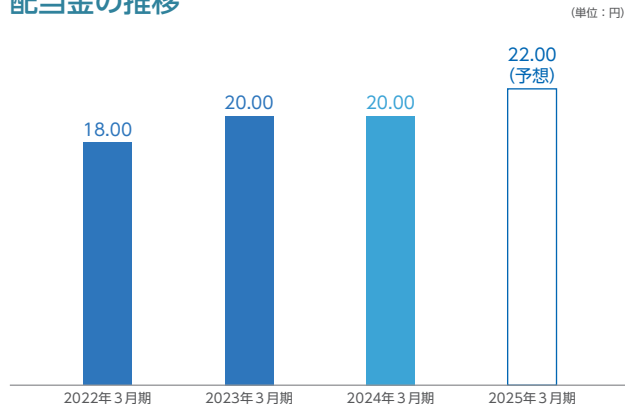
【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主還元

Premium Redemption to Shareholders

配当金の推移



剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主の皆様への安定配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を勘案して配当を行うことを基本方針としております。

内部留保につきましては、企業体質の強化に向けて財務体質の充実を図りながら、経営基盤の整備・拡充等に有効活用し、競争力及び収益力の向上を図ってまいります。

なお、当社は、取締役会の決議により、会社法第454条第5号に定める剰余金の配当（中間配当）ができる旨を定款に定めておりますが、当面は定時株主総会を決定機関とした、原則1回の期末配当のみを行うことを基本方針としております。

「福岡ハカセの読書会 in Ozu」大阪・関西万博イベントを開催

2023年8月6日(日)、熊本県大津町生涯学習センターにて「福岡ハカセの読書会 in Ozu」を開催いたしました。

当イベントは大津町、大津町教育委員会、公益社団法人2025年日本国際博覧会と共同開催し、福岡ハカセが文章を寄稿された絵本『ホテルの光をつなぐもの』を題材に、未来を担う子供たちと一緒に「自然と共に生きる」について考えました。2022年10月に三重県菰野町にて、2023年2月に北海道紋別市にて開催した読書会に続き3回目の開催となりました。

福岡ハカセによる絵本の朗読をはじめ、子供たちから募集した生き物の疑問に答えるトークセッションやプロジェクションマッピングによるクイズ大会などが行われ、会場は大盛り上がりでした。約300名の方にご来場いただき、「くまモン」や「からいもくん(大津町のマスコットキャラクター)」も参加し、会場の熱気がより一層高まりました。またイベントに先立ち、大津町立おおづ図書館及び大津町の各小学校図書館でも絵本の特設展示コーナーを含め、開催にご協力いただきました。

ご協力をいただきました大津町、図書館の皆様、ありがとうございました。

参加校：大津小学校、大津北小学校、美咲野小学校、室小学校、護川小学校
(五十音順)



【後援】菊池市、菊池市教育委員会、菊陽町、菊陽町教育委員会、熊本県、熊本県教育委員会、合志市(五十音順)

JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22

TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828

<https://www.j-materials.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。